

平成26年1月  
宮城県仙台市  
→大館地域天下町



宮城県鳴子町(現大崎市)のご出身。仙台市で高校の物理の教師を務めた。平成25年10月、市の短期滞在体験事業に参加し移住を決める。昨年4月「古書やまもと」をオープン。



### きっかけは一枚の写真

移住は前から考えていました。最初は、「暖かい方がいいから沖繩がいいかな」くらいで、詳しい場所が決まっていなかったんです。そんなときに大館市で短期滞在体験コテージの利用者を募集しているという新聞記事を見て、そのベニヤマコテージの写真が良かった。緑の芝生の中にコテージが建っている写真、それがすごく気に入ってね。いいなあと思いましたね。



### 移住への気持ちは一歩ずつ

短期滞在中に産業祭に行きました。そのとき、この物件いいんじゃないかなと言ったら、仲介業者さんが「会場から近いし一緒に見に行ってみましょう」と。来て

みたら、「ああ、いいなあ」と思っ

て。本が並ぶ具体的なイメージが湧いたんです。ちょうど紅葉の時期で実際のコテージも良かったし、そこからだんだんと行ってみようかなと思うようになりました。



### 楽しみの方が大きかった

移住を考えているのを話したとき、友人はみんな引きとめました。「秋田雪多いよ」「寒いよ」って(笑) でも一度大館に来ていたし、決めてからは何か言われても気になりませんでした。雪もそれほど心配はなくて。寂しさよりも、知らないところに行く楽しみの方がありましたね。仙台に息子と夫を残してきているんですが、夫は最近、「面白そうだから俺もそのうち行くよ」と言っています。

生活していくうえで、人とつながっていくことができればいいなあ

## やまもと 山本 ようこ 洋子さん



### みんな歓迎してくれて、よく来たねって

ここは人が温かい。本屋をやる

と知って本を譲ってくださるかたがいっぱいいたり、観光課に後押しやサポートをしてもらったり。たくさん助けられました。



### 移住者同士の交流も

県北の移住者の集まりがあったんです。お会いしたらみんな素敵



### 本の時間が増えた

昔から本は読んでいて、好きな本もいっぱいあります。でも定期的にある「本を読む会」などで好きな本や詩、文章を紹介するんです。それに向けてもつと読まなきゃ、と今も勉強中。ここに来る前は天気が良いと出掛けることもありましたが、今は店番がある。一人でいれば、本はあるし自然と読みますね。休みの日も、本を読んだり、整理したりして過ごしています。

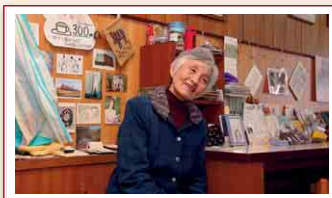
### 人と人との関係が一番

生活していくうえで、たとえ色々なことがあっても、人とつながっていくことができていればいいなあと思います。だから、今は順調に、皆さんと仲良くやっていけるなと思っています。

そして、誰も知ってる人がいないので、ただここに来ても私には何にも頼りがない。だから何かあったときに頼りになる人がいるのはかなり大きい。移住をサポートしてくださった皆さんには、気持ちの面で支えになってももらっていますね。とても助かるし、ありがたいと思っています。だから、そういう形での移住者への支えは、大事だと思います。

これから移住しようと考えている人は「何かをやるか」と思っ

て来ると良いかもしれませんね。そうすれば、その先の生活がもっと充実したものになると思います。



「古書やまもと」